

関連事例

かみかわぐんたかすちょう

スマート農業の導入により地方創生を後押し～北海道上川郡鷹栖町の事例～

- 土地改良事業を契機とし、スマート農業を導入。更なる省力化に向けた取組を開始。
- 高収益なトマトの生産及び加工品(トマトジュース)販売を促進するとともに、新規就農者の研修受入や地域の担い手育成を行う農業交流センターを設立。
- これらの取組により、野菜における農業産出額は堅調に推移し、新規就農者も増加。

土地改良事業を実施

農地の大区画化と地下水水位制御システムの導入により省力化

生産現場

スマート農業の導入による更なる省力化

- 従来の3名から1名での田植えを可能とする自動操舵田植機の導入や、生育状況を高い視点から一望できるドローンによる生育管理の試験導入など更なる省力化に向けた取組を開始。



高収益な野菜の生産及び高付加価値化

- 育苗ハウスを利用したトマト栽培の実践により地域ブランドを維持。
- トマトを加工し地域ブランドのトマトジュース『オオカミの桃』を販売・促進。



新たな担い手の創出

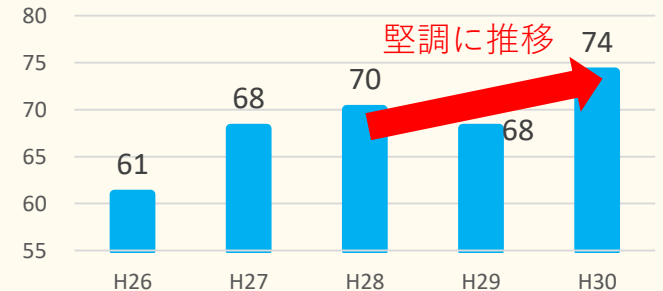
- 鷹栖町にて農業交流センター(あったかファーム)を設立。ICT農業の試験導入等を通じ、将来の担い手を育成。

担い手

儲かる農業の確立による担い手の増加

- これらの取組により、鷹栖町における高収益な野菜の農業産出額は堅調に推移し、町外からの新規就農が増加。

野菜の農業産出額(推計) (単位:千万円)



新規就農者延べ人数(鷹栖町)

